

<p>問1 写真は記録であると認識することを当然のこととして重要視せず、写真は人間の主観を通して認識され、再現された人間の世界の表現であると捉えること。</p>	<p>問2 エ</p>	<p>問3 フィルムとレンズとカメラのボディの機構という機械性に依存したカメラをもって実物を撮ることで、写真は実物そのままの精密な記録ではなく、撮影者一人一人の主観を通じた表現にならざるを得ないということ。</p>	<p>問4 カメラのシャッターを押せば写真は写るという写真のもつ記録性は当然な話として重要視せず、ものを記録するというメカニズムの必然の結果だけでは写真とはいえないと考え、写真とは人間の主観を通した、人間を主体とした表現だと捉えること。</p>	<p>問5 フィルムとレンズとカメラのボディの機構という機械性は発展し続けるので、写真の可能性は非常に拡大され、いかなるときでも写し得るようになったが、機械性の問題については、今日においてもわれわれの完全な満足を与えてくれない。しかし、カメラのシャッターを押せば写真は写るという写真の記録性については当然な話であるから。</p>	<p>問6 非常に高感度なフィルムができたり、明るいレンズができたり、早いシャッターができたり、今までとめられなかったものもとめて写すことができたりするようになったというメカニズムの発展によって、写真表現の可能性を拡大したいという人間の欲求がさらに強まったということ。</p>	<p>問7 機械を人間が使う以上出てくる、どういう表現をもたなければならぬかという問題に対しては、カメラのメカニズムの必然の結果である、ものを記録するということだけを重視するのではなく、写真とは人間の主観を通した、人間を主体とした表現だと捉えることが必要だということ。</p>
--	-----------------	---	--	--	--	--

二 (30点)

問7	問6	問5	問4	問3	問2		問1
					②	①	
色 オ ↓ イ ↓ ア ↓ エ ↓ ウ 新	コ コ コ ロ ウ	女房として宮中に出仕し、他人と交際する状況。	漢籍や経を読まないようにしたからといって長寿であるという例は見たことがないので、縁起を担ぐのは無意味であるということ。	所在ない時には漢籍を手にとってお読みになるので	② 気に入らなく思われる	① 気味が悪いほど	自分が独り弾き鳴らした琴の音色を聞きつけて、わびしい生活をしている女がいるのかと思う人がいるかもしれないと恐れる心情。

三
(30点)

問1	問2	問3		問4	問5	問6
<p>① ゴ寵愛が深かった</p> <p>② 武家の子息と結婚させて</p>	<p>強意の助動詞「ぬ」の未然形十婉曲(仮定)の助動詞「む」の連体形</p>	<p>A</p>	<p>あなたのことでも安心して世話をなされることができる</p>	<p>息子はもはや幼少の身ではないので、父親である自分が決めるわけにはいかないから、直接息子本人と相談してほしいと伝え、返事を保留した。</p>	<p>父の子として生まれた以上、婿入りするわけにはいかず、また武家に生まれた自分が商人になるつもりもないので、ありがたい申し出ではあるがお断りしたい、という内容。</p>	<p>年老いた親のために、自分を犠牲にするのも孝行ではあるが、どんなに不遇であっても武士としての家系を絶やさないことが、こそが真の孝行であると息子が理解していたことに感懐したから。</p>